



# 木かけ

第17号

発行/平成26年3月

広島市西区地域活動連絡協議会

## 西区地協研修会

2月9日(日)に特別支援教育士スーパーバイザーの竹内吉和先生を迎えて、「発達障害の理解」という演題で講演会が行われました。先生の話のマジックに引き込まれながら、参加者72名がわかりやすく拝聴する事ができました。

発達障害とは、コミュニケーションをとる事が難しく、学習する力(生きる力)、中でも聞く力が生まれながら弱く、聞く力とは記憶する事であり、弱さに対する支援は視覚ややさしい繰り返しの言葉等であることを学びました。



### 西区10クラブの独自で実施している活動をご紹介します。

#### 南観音母親クラブ 「観音ねぎ入り肉まん料理教室」

観音特産の観音ねぎを使用した肉まんを作る食育活動を行っています。子ども達に調理をする楽しさや食物への関心を高めてもらう事を目的として5年前から始めました。試作に試作を重ねて完成した『観音ねぎ入り肉まん』は、子ども達の料理教室から地域の行事、さらに西区のイベントにも出品させて頂きました。美味しく出来上がるために様々な工夫を凝らし特に観音ねぎは、皮に入れるねぎは存在感を出すために葉先の緑の部分を使い、あんに入れるねぎは甘味や食感を残すために根元寄りの白い部分を使い、半分は火を通し半分は生として使います。これからも、心身ともに豊かになるような食育活動を行っていきたいと思っています。

#### 己斐母親クラブ 「新年お楽しみ会」

1/16(木)己斐児童館で、己斐児童館・己斐母親クラブ共催で「新年お楽しみ会」を行いました。毎年恒例の行事で、今年は約120名の児童達が手品を見た後、ぜんざいを食べて交流を深めました。その中で己斐母親クラブは、PTAの保護者の方々と一緒にぜんざい作りをし、今年はお餅の代わりに白玉にしましたが、子ども達の“お代わり”が予想以上に有ってぜんざいが足りないほどでした。120名のぜんざい作りは大変ですが、保護者の方のお手伝いも有るし、子ども達の元気な“お代わり”の声を励みに、頑張っ続けて行きたいと思えます。

#### 三篠母親クラブ 「手芸教室」

何年前から始めたのか? 20年前以上!  
“プチ・フローレ花工房”の松尾先生を講師に迎えて、生花やドライフラワーなどを使い、アレンジメントを教わっております。年3回の開催ですが、毎回、会員に大好評です。もちろん、費用は実費でお願いしています。  
2年前からは、公民館と共催させてもらい、年末に『お正月用の寄せ植え』をやっております。会員はもちろん、一般の方にも呼びかけ、40名ほどの参加を得られました。この内から新しい会員さんも増えました。今後も続けて行きたいと思っています。  
いつも楽しくおしゃべりをしている間に、出来上がっているんですよ…。先生の見本と、どこが違うのか悩んでいます。が、「家に帰ったら自分の一つだけ、うちのが一番!!」が合言葉です。

#### 己斐上母親クラブ 「オープンスペース」「食育」

私達の主な活動は子育て支援として、月に2回のオープンスペースの開催と小学生を対象とした「食育」を月に1回行っています。  
それぞれ地域に定着しており、毎日たくさんの参加者で賑わっています。  
オープンスペースでは赤ちゃんだった子が歩き始めたり、友だちと遊べるようになったりと、可愛い成長を見るたびにほのぼのとした気持ちにさせてもらいます。  
食育では、スタッフの方々の指導で、道具の使い方は勿論、お互いに協力し合って調理する楽しさや畑で作った野菜を収穫し食べる喜びを感じてもらっています。  
どちらの活動も今はなくてはならないものだと思います。

### 草津母親クラブ 「ベルの会」

ハンドベルは6年前、児童館のクリスマス会に子供達と一緒に楽しみたいという思いから企画して練習を始めました。

子供達は上達も早くとても上手に素直な演奏をしてくれましたが、私達はそうはいかず一曲マスターするのも当時は大変でした。

以来30代から60代の7名のメンバーに色々と事情がある中で少ない練習ではありますが、今日まで継続してきました。クリスマス会前、9月頃から毎週1度みんな集まり、キビシイ練習？ 楽しいおしゃべりで輪を回り和やかな会になり、レパートリーも増えてきました。去年は中国・四国・九州ブロック大会で広島の母親クラブ活動として皆様の前で演奏をするといういい経験をさせていただきました。

「上を向いて歩こう」の演奏は参加者の皆様が一つの輪になり最高潮でした。これからも地道に活動していきたいと思えます。

### 高須母親クラブ 「茶道クラブ」

児童館行事への参加は多い時で200~300名というすごさです。しかし、クラブ会員数は年々減少傾向にあり、先生方や地域の方々のご協力に支えられながら取り組んでいるのが現状です。そんな中、熱い思いで支援活動しているのが子ども茶道クラブです。現在1年生から6年生までの男女合わせて25名が所属。子ども達自らが積極的に取り組み、年3回のお茶会では立派なお点前やお運びなどの大役を果たしています。流派を越え、本来の目的である日本伝統文化の継承と心身の育成は達成されつつあります。一年間の子ども達の成長ぶりには目を見張るものがあります。私達の大切な活動として長く継続して行きたいと思っています。

### 鈴が峰母親クラブ 「映画会へ行こう」

わが鈴が峰母親クラブは映画会を毎年開催しています。近年は歩いてゆけるところにある「109」シネマズに行っています。ポップコーンとジュースを持って友達と一緒に観る映画は楽しくて最高です。

豊かな気持ちや育ってくれることを望みながら役員、保護者のお父さん、お母さんと泣いたり笑ったりの社会見学をかねた団体行動です。

### 井口母親クラブ 「夕涼みお楽しみ会」

毎年、ここ6年間続いているのが、夕涼みお楽しみ会です。7月の夏休みに入って2週目位の夕方6時~8時ころまで行っています。

毎年、20組位の親子が参加しており、会員同士の親睦をはかっています。16mm映画の映写会を子どもたちが観ているうちに、日が暮れていきます。バザーのおにぎりを親子で食べたり、ヨーヨー釣りやスーパーボールすくい等のゲームをしたり、お楽しみゲームでプレゼントをゲットしたりと暑い中ですが、ちょっとした夜店気分が味わえる楽しい会です。

### 古田母親クラブ 「交通遺児募金」

古田母親クラブは交通安全を訴えるのにマスコットを作っています。

毎年違った形のマスコットを市地協に教えていただき、広島市や西区に持参し、交通安全週間に配っていただいています。

古田母親クラブでは、毎年、会員の親睦と勧誘をかねて、皆で児童館に集まり、楽しくおしゃべりをしながら、500~600個を作っています。和気あいあいの雰囲気です。

秋の公民館、児童館まつりの時には、マスコットを販売し、交通遺児募金の寄付を募っています。

集まった募金は、広島県庁、福祉課に交通遺児募金として収めています。

### 山田母親クラブ 「ハローウィン」

「トリックアトリート」、子どもたちが魔女や魔法使いなどに変装した大人たちのところに来て大きな声で言います。山田児童館の秋のメイン行事、ハローウィンです。10月31日、木曜日の放課後、子どもたちは、急いで児童館にやってきます。それぞれが、オリジナルの格好で、呪文をとねえ、お菓子をゲットします。大人の皆さんも楽しんで、なりきって参加しています。児童館まつりは6月に行なわれましたが、今回も児童館まつりPart 2としてたくさん参加してハローウィンを楽しみました。

### 【平成25年役員】

会長 : 菊川 光子  
副会長 : 船本 えり子  
会計 : 中塩 由理  
事務局 : 梅本 智美

今年度は中四国・九州ブロック大会があり、区のクラブが10クラブと減った中、西区地協の活動にご理解、ご協力ありがとうございました。おかげさまで、無事終えることができました事をお礼申し上げます。